

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月17日

事業所名 レインボーキッズクラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		活動によって、療育の部屋、プレイルームで人数をわけて過ごしています。	子ども達の利用状況に応じてスペースを確保していきます。
	2 職員の配置数は適切である	4	1	利用人数に応じて、個別で関わられる人数配置を行っています。	子ども達の状況に応じて、職員の配置を行っていきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	子ども達が見てわかりやすいように、視覚支援を行ったり、絨毯を敷いて転倒防止をしています。	今後も子ども達が理解しやすいよう、視覚支援を行っていきたいと思います。バリアフリー化については、今後検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎日掃除を行い、一時間ごとに消毒・換気を行っています。また、活動に応じて環境を変えています。	子ども達が過ごしやすい環境を提供していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		各活動の委員会を決め、毎日のミーティング・月に一度の会議にて話し合っています。	毎日のミーティング・月一度の会議だけでなく、時間がある限りPDCAサイクルを行っていきたいと思います。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者に対し事業所の評価を実施し、その結果を職員全員に周知しています。	評価の結果を真摯に受け止め、改善に努めます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		ホームページに記載しています。	事業所の自己評価委を行い、改善内容をホームページに公開を行います。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現時点では行っていません。	現在は取り入れていませんが、今後は検討させていただきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		随時、様々な研修に参加しています。また、事業所内研修も行ってあります。	今後も様々な研修に参加し、職員のスキルアップに繋げていきます。また、職員で研修内容を共有していきます。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		アセスメントを行い、ニーズや課題等を客観的に分析し、計画書を作成しています。	今後も行うと共に、職員全員に周知し、意見交流の時間を設けていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		児童発達支援計画に「家族支援」「地域支援」をその子にあった項目を選択し、具体的な内容を設定しています。	今後も継続して行っています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		個々の計画に沿って支援しています。	今後も継続して行っています。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		各活動に職員を割り当て、様々な案を決め、活動に取り組んでいます。	今後も継続して行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		固定化しないように、月に一度会議に手評価・反省を行い、改善に努めています。	今後も固定化しないように、内容を変更していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		個別活動と集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続して行っています。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日のシフトに、役割分担を行い、必ずミーティングで確認をしています。	今後も継続して行っています。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	その日の反省や気付いた点は、業務日誌に記入したり、毎日のミーティングで情報共有を行っています。	今後も欠かさず、反省点などの振り返りをミーティングで行っていきたいと思います。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		毎日、支援経過を記録し、改善に繋げていきます。	日々の記録に努め、支援の検証・改善を随時行っています。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		職員会議で個人のケース会議をし、半年に一度モニタリングを行い、計画書の見直しをしています。	今後も継続して行っています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		児童発達支援管理責任者が参加しています。	今後も継続して行っています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		送迎時に子どもの様子などを確認しています。また、必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時は他機関との連携を行い支援して行きます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	2	必要時に保護者を通じて連絡体制を図っています。	今後、必要時は他機関との連携を行い支援して行きます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	2	該当者がいません。	今後、必要時は主治医や他機関との連携を行って行きます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後はより、積極的に情報共有や相互理解を図って行きます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時は、連携を図って行きたいと思えます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1	研修は受けていませんが、必要機関と連絡はとっています。	今後は、研修も検討して行きます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	同事業所の企業内保育所との「交流」があります。	今後、色々な交流の場を検討して行きます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	現時点では、参加していません。	今後、機会があれば参加して行きたいです。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時や連絡ノートを用いて、保護者とコミュニケーションを図っています。	保護者とのコミュニケーションを図り、共通理解を持って支援して行きます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	5		現在は、実施していません。	今後の課題として検討させていただきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約時に説明を行っています。	今後も、契約時に説明を徹底して行きます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		職員でガイドラインの周知を行っています。策定された計画書は、説明を行い同意を得ています。	ガイドラインに沿って、児童発達支援計画を作成し、保護者に説明。同意を頂き支援して行きます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		相談があった場合は、適切に対応するように心がけています。	今後も、保護者からの相談等に、適切に対応し助言や支援を行って行きます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		年に2回茶話会を行い、保護者同士の支援を連携しています。(コロナ禍の為、実施できていません)	コロナが落ち着いてきたら、実施し保護者同士の交流の場を検討して行きます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		相談があった場合は、迅速な対応をするように心掛けています。また、必要機関との連携も行っています。	今後も、相談に対して速やかに対応し、必要な際は他機関との連携も行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		毎月、新聞を発行し、日々の活動の様子をホームページに掲載しています。	今後も新聞・ホームページで発信して行きます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		秘密厳守を徹底しています。個人情報に関しましては、シュレッターで破棄するように徹底しています。	今後も個人情報の扱いについては、十分注意して行きます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		毎日の連絡ノートや送迎時に必要な情報を伝えています。また、電話や懇談等も行っています。	連絡ノートや送迎時を通じて、保護者との意思疎通を密にし、子どものニーズに添って情報伝達などの配慮を行って行きます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5		年に1、2回地域の方も招待して行事(マルシェ)を行っています。	今後も継続して、地方の方との交流を図って行きます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		契約時にマニュアルの説明を行っています。	今後も職員や保護者の方に周知を行って行きます。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	月に一度、地震・火災・風水害・不審者等の様々な災害を想定した避難訓練を行っています。	毎月1回、様々な避難訓練を行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	契約時に確認しています。また、服薬は薬の種類をコピーさせて頂いてます。	今後も、契約時に確認し確認したことを職員間で共有していきます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	アレルギーの子に関しては、除去を徹底し、アレルギー一覧表を作成し、職員で周知しています。	今後もアレルギーに対しての除去を徹底し、事故防止を務めていきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	怪我や事故の危険だと思った行動をヒヤリハットに記入し、対応などを会議に手話し合いをしています。	今後も職員間で共有し、事故防止に努めていきます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	虐待防止の研修を行っています。	研修会を確保し、虐待防止に努めます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2 該当者がいません。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い、対応させていただきます。